

2023年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社 セ ッ ク
代表者名 代表取締役社長 櫻井 伸太郎
(コード番号：3741 東証プライム市場)
問合せ先 取締役管理本部長 杉山 寿顕
(TEL. 03-5491-4770)

第4回「きぼう」ロボットプログラミングチャレンジ (Kibo-RPC) に協賛します

株式会社セック（代表取締役社長：櫻井伸太郎）は、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）が主催する、第4回「きぼう」ロボットプログラミングチャレンジに協賛します。本競技会への協賛を通して、若いロボットエンジニアの育成と宇宙でのロボット技術の活用推進に貢献してまいります。



「きぼう」ロボットプログラミングチャレンジ (Kibo-RPC) とは

「きぼう」ロボットプログラミングチャレンジ (Kibo-RPC: Kibo Robot Programming Challenge) は、国際宇宙ステーション (ISS: International Space Station) 内のドローンロボットである Int-Ball (JAXA) と Astrobee (NASA) を動かすプログラムを開発し、与えられた課題を解決する速さと正確性を競う、学生向けの国際的なプログラミング競技会です。2020年に第1回大会が開催され、今回で4回目の開催となります。

Kibo-RPC ポータルサイト (JAXA): <https://jaxa.krpc.jp/ja>

当社は2019年度より、本競技会において学生たちがプログラム開発で利用するソフトウェアプラットフォームやポータルサイトの開発と運用に携わり、各国の予選会の支援業務にも従事してきました。また、第1回大会より引き続き本競技会へ協賛しております。

（ご参考）第3回 Kibo-RPC 開催結果

2022年に開催された第3回 Kibo-RPC では、参加国/地域が増えるとともに過去最高の参加者数となり、合計12の国/地域から、351チーム、1431人の学生が参加しました。各国/地域の予選を勝ち抜いた代表チームが2022年10月に開催された軌道上決勝大会に挑戦しました。軌道上決勝大会では、ISSの「きぼう」日本実験棟内で実際のドローンロボットを使用した競技が行われ、優勝は台湾から参加した「KIBO la na tsu bu KIBO / Robology Awesome Aliens」チームでした。

第3回 Kibo-RPC (JAXA) : https://humans-in-space.jaxa.jp/krpc/3rd/index_ja.html



軌道上決勝大会に参加した若田宇宙飛行士と、宇宙ドローンロボット「Astrobee」（画像提供：JAXA/NASA）



JAXA 筑波宇宙センターでの軌道上決勝大会の運営（画像提供：JAXA）



軌道上決勝大会で優勝した台湾のチーム（画像提供：JAXA）

ニュースリリースに関するお問い合わせ先

株式会社セック 広報担当

TEL : 03-5491-4770 e-mail: info@sec.co.jp

以上